

ヤマハ株式会社  
2016年3月期  
第1四半期決算説明会

2015年 7月 31日



## 決算概要

- 対前年同期増収、各利益段階で大幅な増益 1Qの増収増益は4期連続  
対前回予想でも増収増益
- 楽器事業は、中国市場が好調、欧州市場も堅調で、  
国内市場の回復遅れを補い、対前年同期増収増益
- 音響機器事業は、AV機器の厳しい状況継続も、  
PA機器が欧州、中国、その他市場で好調に推移し、対前年同期増収増益
- 電子部品事業は、対前年同期減収も、構造改革効果に加えて  
アミューズメント向け部品回復で損益改善黒字化
- その他の事業は、FA機器の増収を主要因に対前年同期増収増益

# 2016/3期 1Q業績概要



(億円)

	15/3	16/3	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	996	1,055	+6.0%	1,040	+1.5%
営業利益 (営業利益率)	62 (6.3%)	89 (8.4%)	+42.0%	70 (6.7%)	+26.4%
経常利益 (経常利益率)	59 (5.9%)	85 (8.0%)	+44.5%	65 (6.3%)	+30.2%
当期利益※ (当期利益率)	41 (4.1%)	63 (5.9%)	+53.3%	50 (4.8%)	+25.0%

## 為替レート (円)

売上高	US\$	102	121	120
	EUR	140	134	130
利益	US\$	102	121	120
	EUR	140	133	130

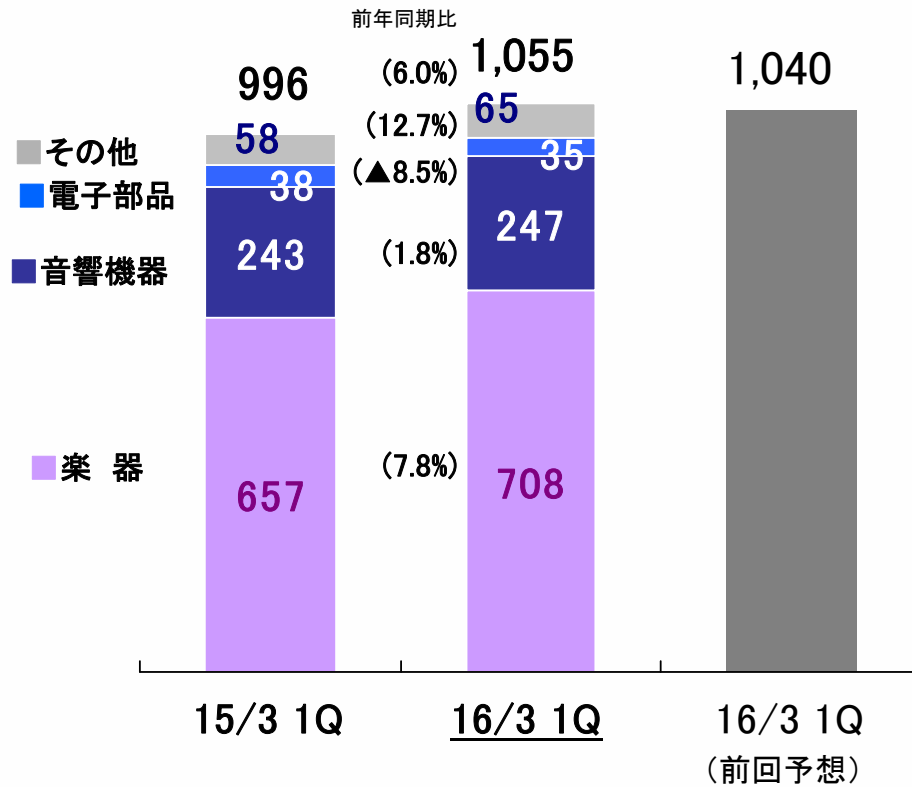
※連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」

●前回予想は2015/4/30 発表

# 2016/3期 1Q事業別業績



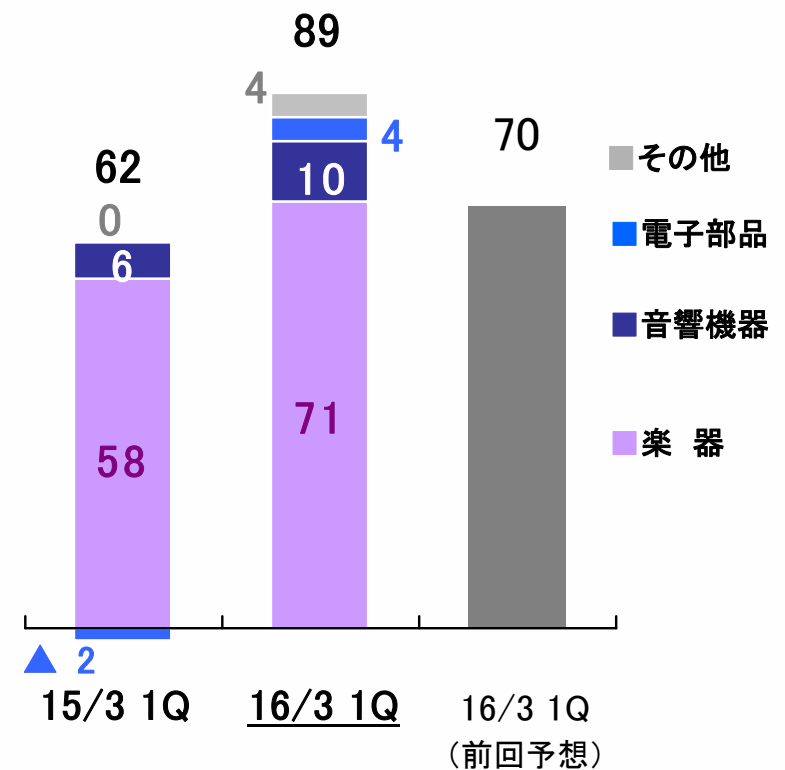
## 売上高



為替影響額 (億円)	
前期比較	+52 楽器 +37 音響機器 +14 電子部品 +1
前回予想比較	+15 楽器 +11 音響機器 +5

## 営業利益

(億円)



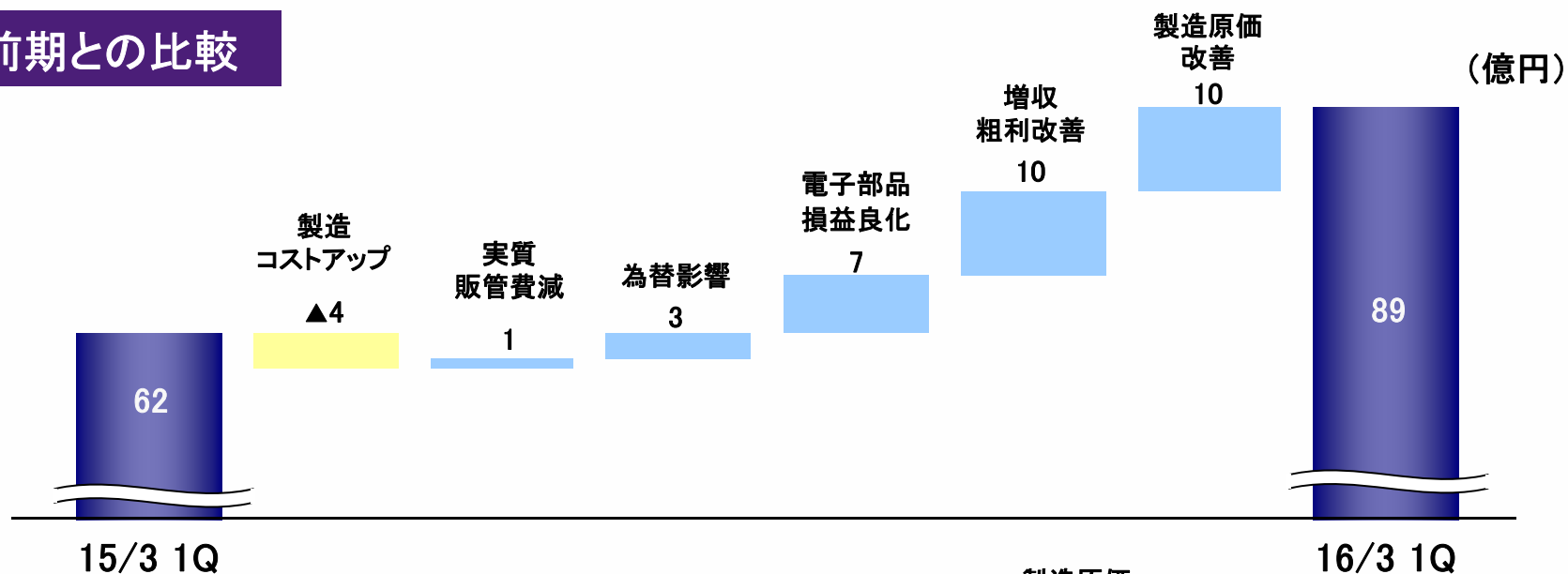
為替影響額 (億円)	
前期比較	+3 楽器 +4 電子部品 ▲1
前回予想比較	+7 楽器 +5 音響機器 +2

●前回予想は2015/4/30 発表

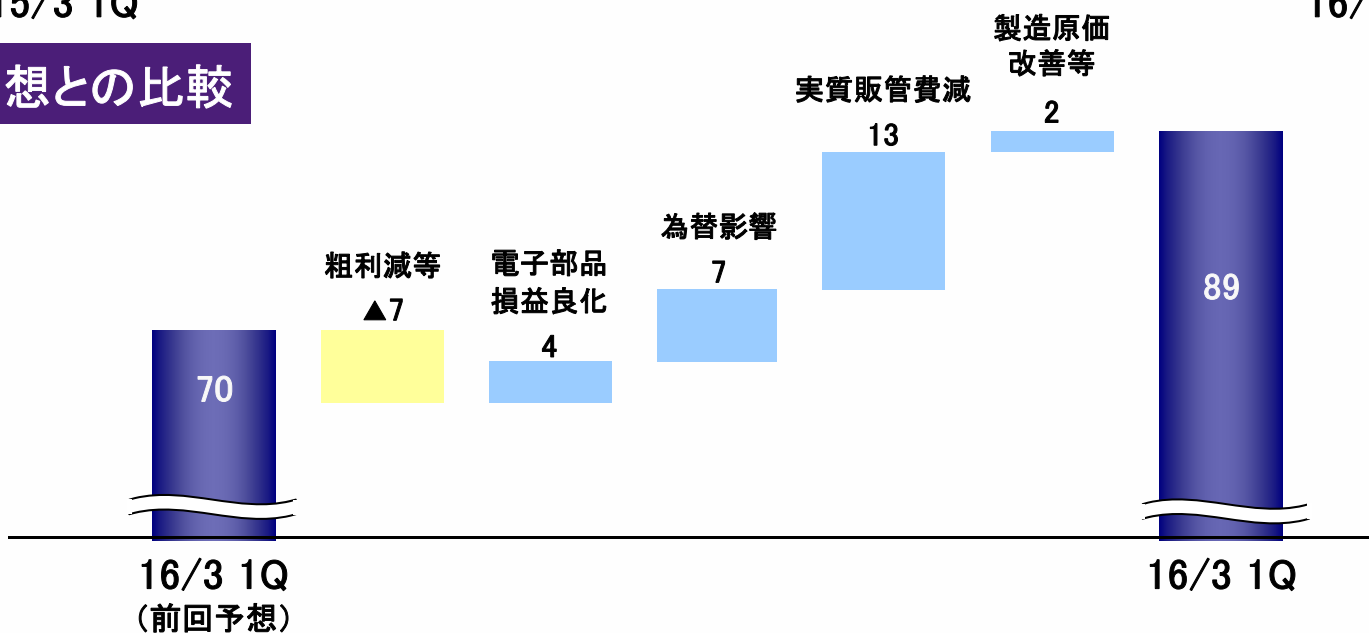
# 2016/3期 1Q営業利益増減要因



## 前期との比較



## 前回予想との比較



●前回予想は2015/4/30 発表

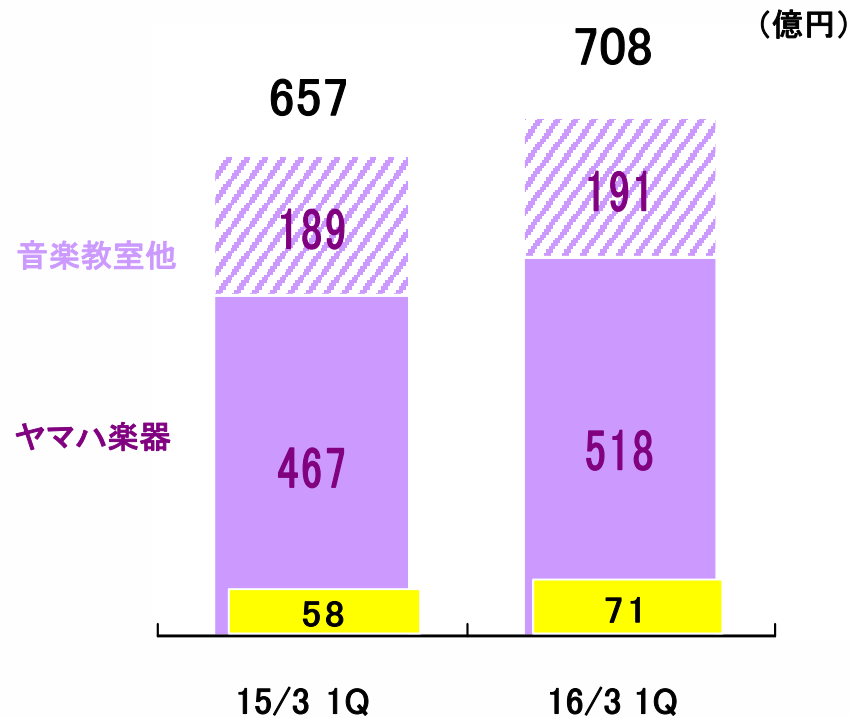
# 楽器事業 1Qの状況



1Q

売上高

営業損益



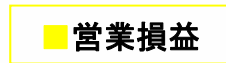
## 1Qの状況

- ・対前年同期増収増益
- ・北米市場は堅調、欧州市場は想定を上回り推移
- ・中国市場は、電子楽器好調等で二桁成長
- ・その他市場も、概ね堅調な推移
- ・商品別では、デジタルピアノ、管楽器が好調
- ・ピアノは、国内市場回復遅れで前年同期並み

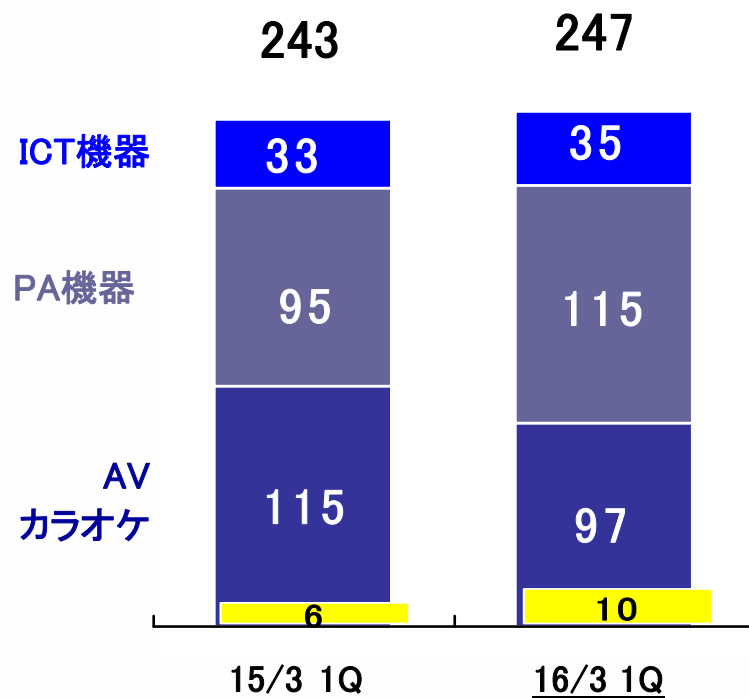
# 音響機器事業 1Qの状況



1Q



(億円)



## 1Qの状況

- ・対前年同期増収増益
- ・AV機器は、対前年同期減収継続も、想定通り
- ・通信カラオケは、供給形態変更で減収
- ・PA機器は、北米を除く全市場で実質二桁成長
- ・Revolabsは堅調に推移

# 電子部品事業 1Qの状況

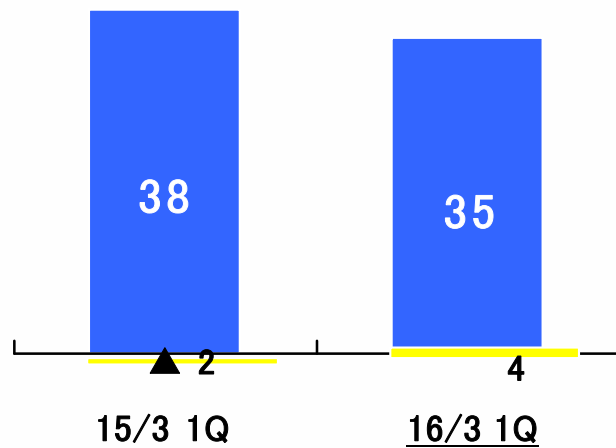


1Q

■ 売上高

■ 営業損益

(億円)



## 1Qの状況

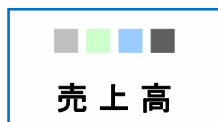
- ・対前年同期で減収も損益改善黒字化
- ・構造改革効果及びアミューズメント向け部品の販売回復基調等で損益改善



# その他の事業 1Qの状況

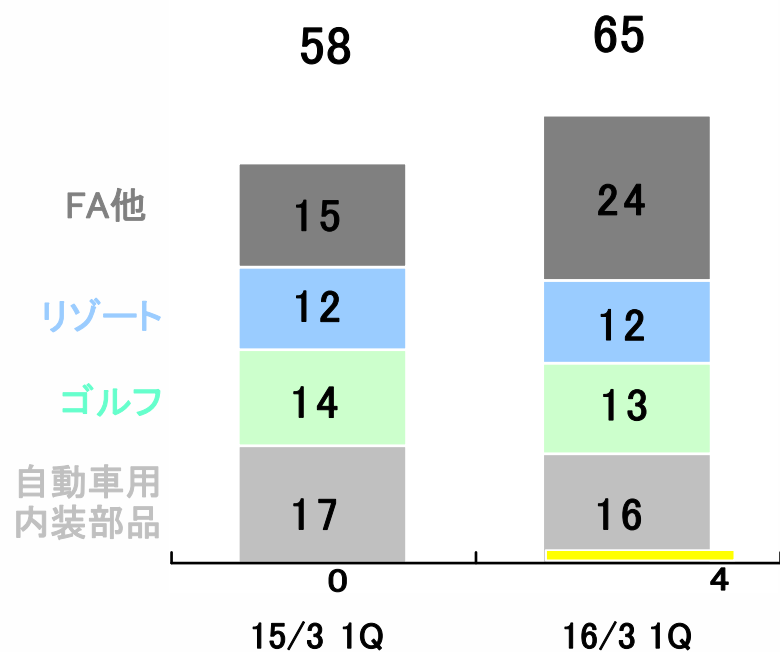


1Q



営業損益

(億円)



**1Qの状況**

- ・対前年同期増収増益
- ・FA機器は対前年同期で好調に推移
- ・自動車用内装部品、ゴルフ用品は対前年同期で若干の減収

## 2～4Qの見通し

- 楽器事業は、1Qの販売状況を踏まえ、各市場とも当初の販売見通しを堅持
  - 音響機器事業は、PA機器の成長継続とAV機器の新製品投入による挽回に注力
  - 電子部品事業は、構造改革効果をベースに黒字化を着実に実現
- 為替前提は、前回予想のUSDドル120円 ユーロ130円から変更なし

## 通期の業績見込み

- 通期業績予想は、1Qでの増収、各利益段階での好調な推移を前提として前回予想から修正。 売上高4,370億円 営業利益350億円とする。

# 2016/3期 通期業績予想



(億円)

	15/3	16/3予想	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	4,322	4,370	+1.1%	4,350	+0.5%
営業利益 (営業利益率)	301 (7.0%)	350 (8.0%)	+16.1%	340 (7.8%)	+2.9%
経常利益 (経常利益率)	312 (7.2%)	350 (8.0%)	+12.1%	330 (7.6%)	+6.1%
当期利益※ (当期利益率)	249 (5.8%)	270 (6.2%)	+8.3%	255 (5.9%)	+5.9%

## 為替レート (円)

売上高	US\$	110	120	120
	EUR	139	131	130
利益	US\$	109	120	120
	EUR	141	131	130

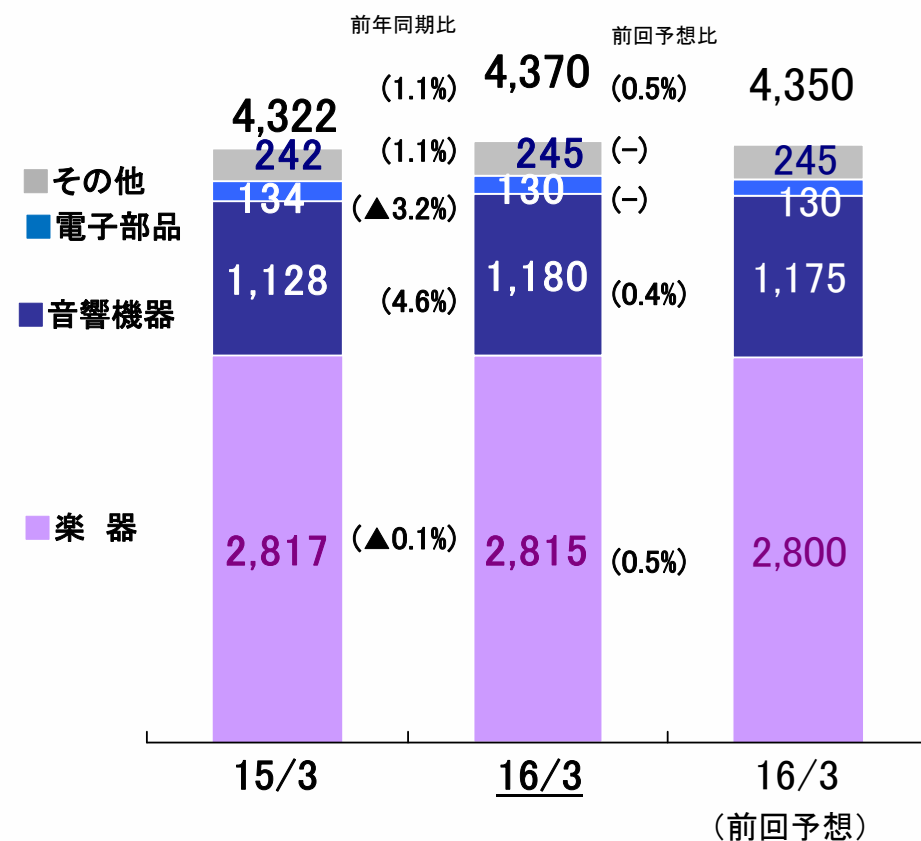
※連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する当期純利益」

●前回予想は2015/4/30 発表

# 2016/3期 通期事業別業績予想



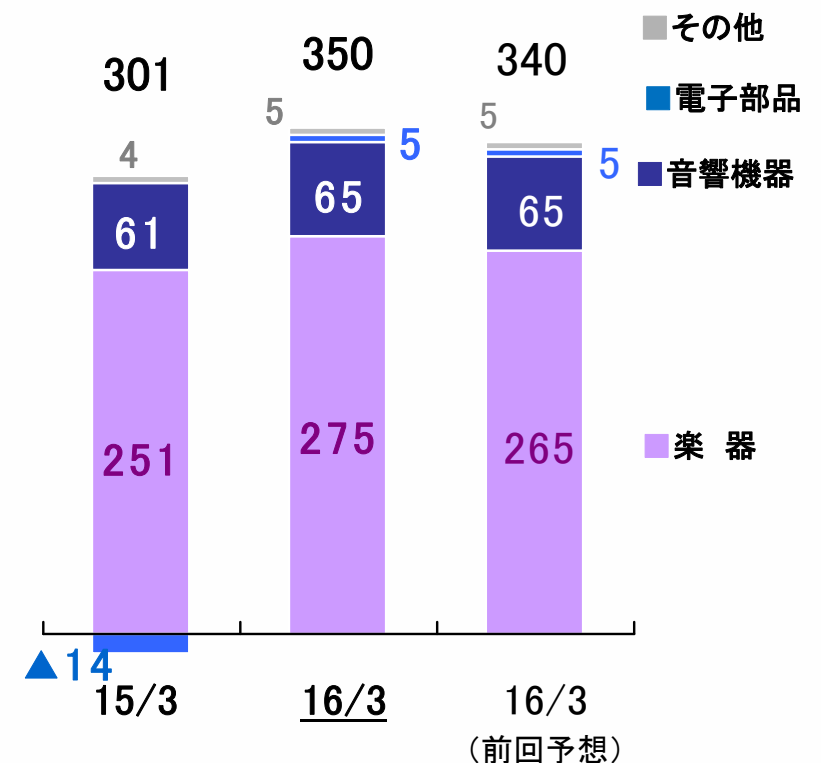
## 売上高



為替影響額 (億円)	
前期比較	+74 楽器 +55 音響機器 +17 電子部品 +2
前回予想比較	+20 楽器 +14 音響機器 +6

## 営業利益

(億円)



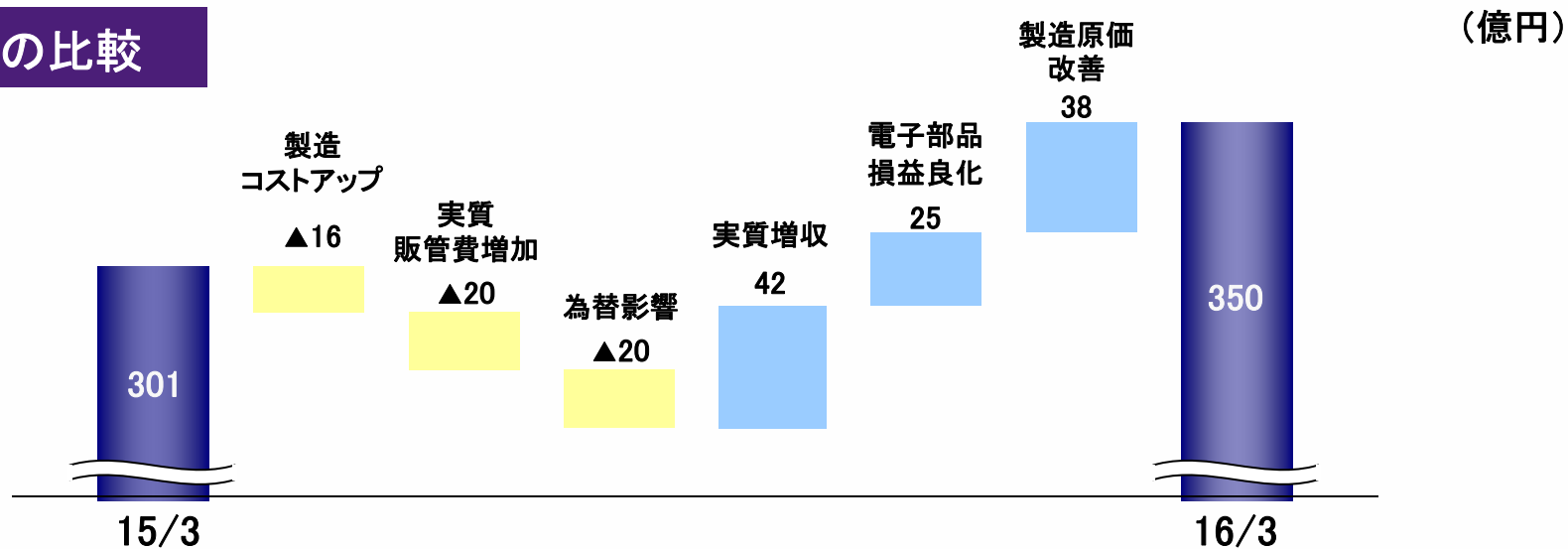
為替影響額 (億円)	
前期比較	▲20 楽器 ▲5 音響機器 ▲10 電子部品 ▲5
前回予想比較	+11 楽器 +8 音響機器 +3

●前回予想は2015/4/30 発表

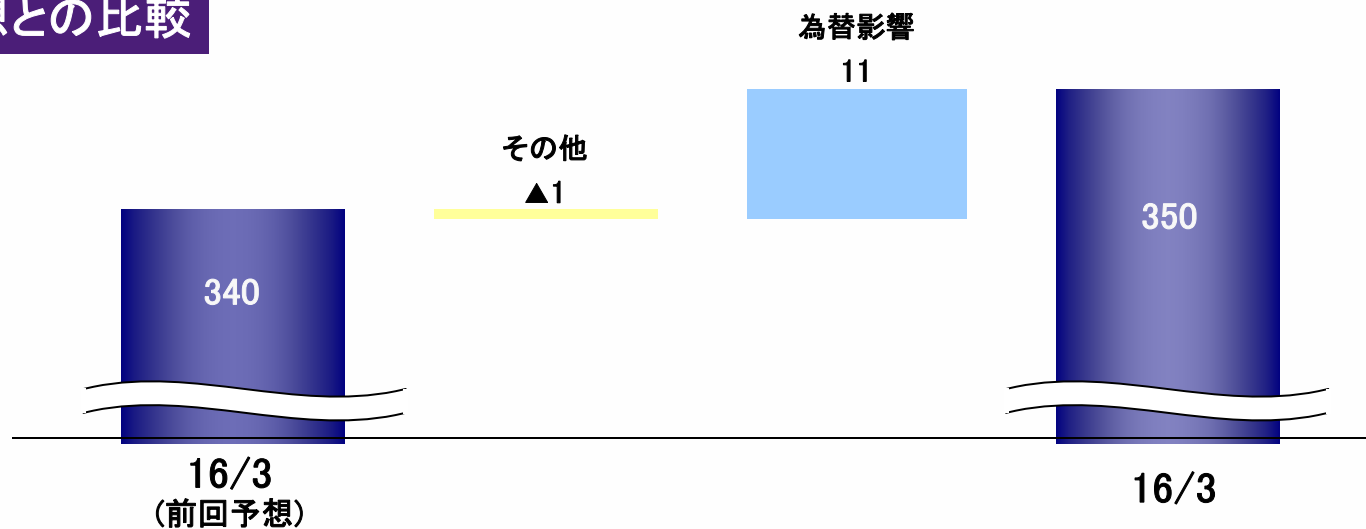
# 2016/3期 通期営業利益予想増減要因



## 前期との比較



## 前回予想との比較



●前回予想は2015/4/30 発表

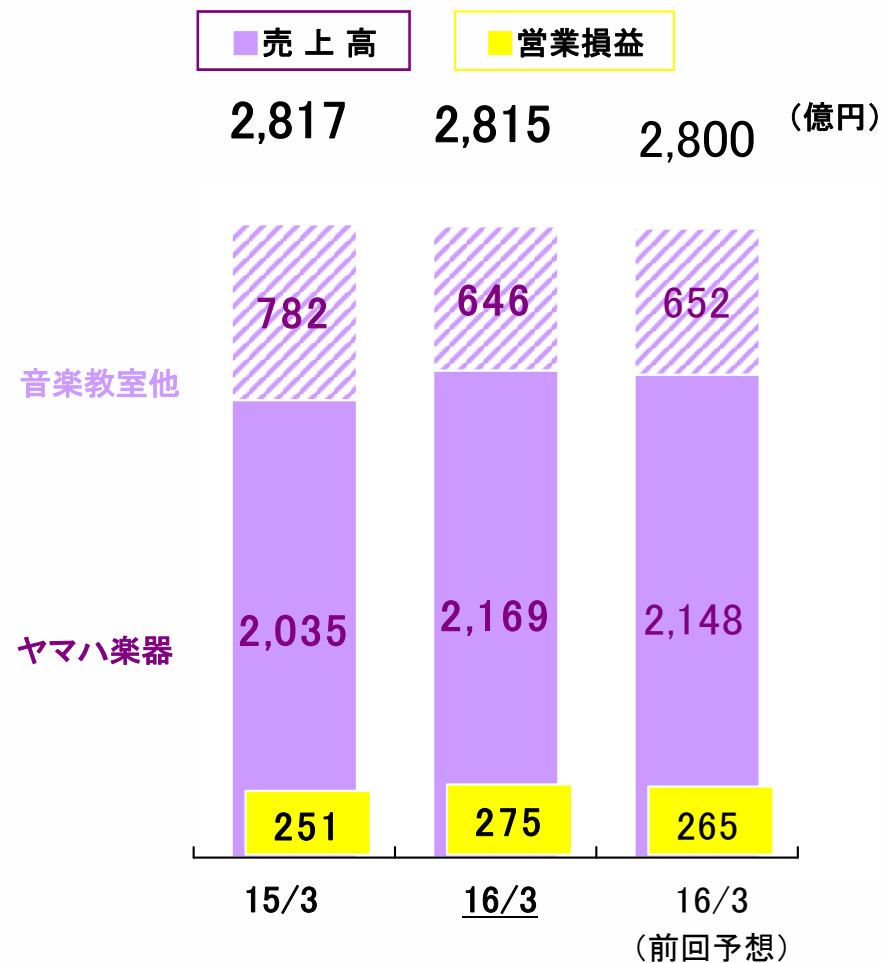
# 楽器事業（予想）



## 通期

### 通期予想

- ・対前期増益 対前回予想では増収増益
- ・欧州市場、中国市場、その他の市場に  
先行き懸念はあるが、当初見通しを維持
- ・電子ピアノや管楽器の成長を想定

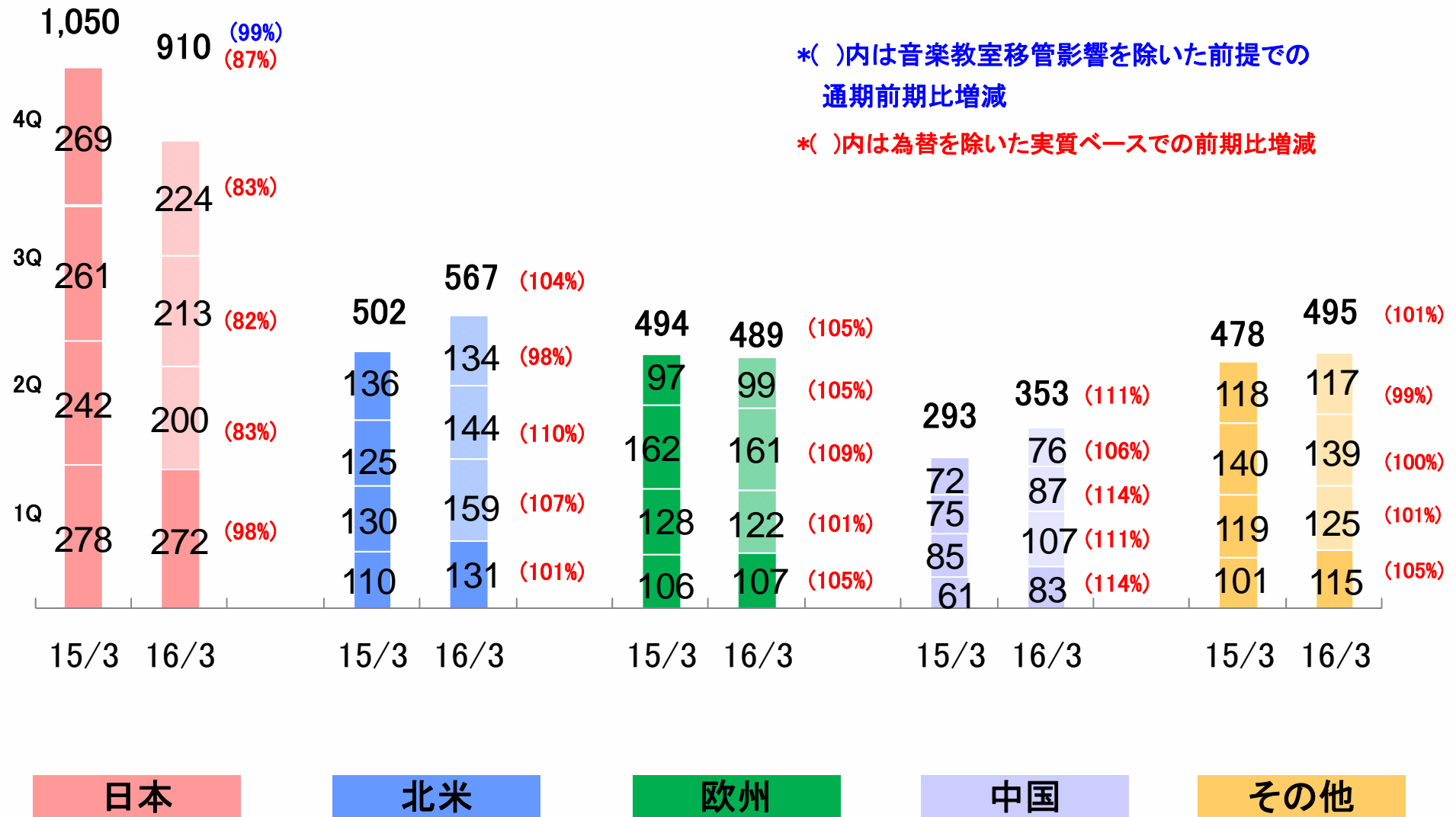


# 楽器事業(地域別の販売予想)



【楽器販売予想 (ソフト、音楽教室等を含む)】

(億円)



# 音響機器事業 (予想)



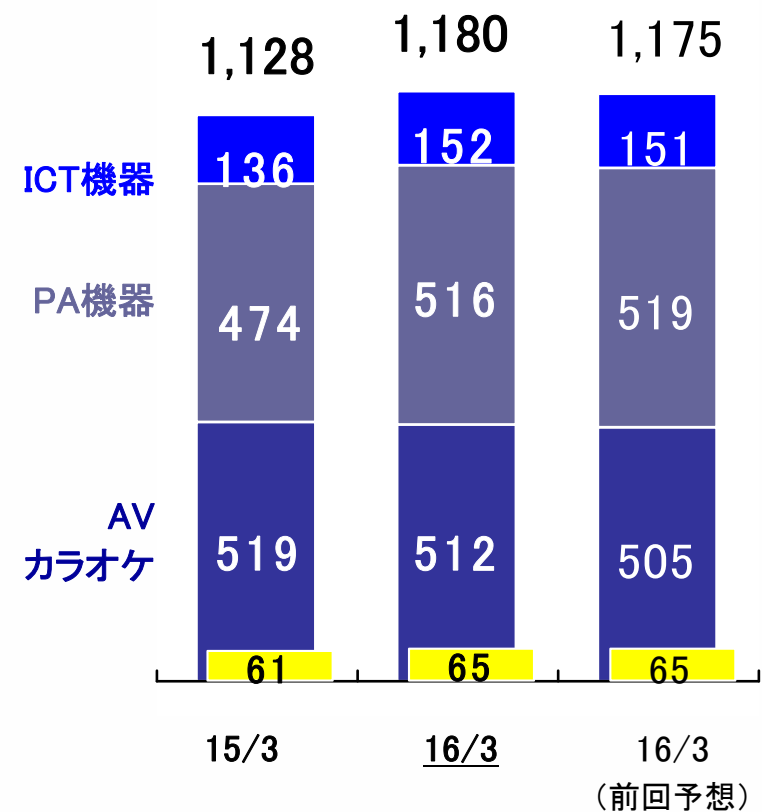
通期



(億円)

## 通期予想

- ・対前期増収増益
- ・AV機器は、新商品投入による回復を目指す
- ・PA機器は、デジタルミキサー新商品導入等を中心に成長加速
- ・通信カラオケは供給形態変更により減収も損益維持
- ・ルーター、会議システムは堅調な販売を想定



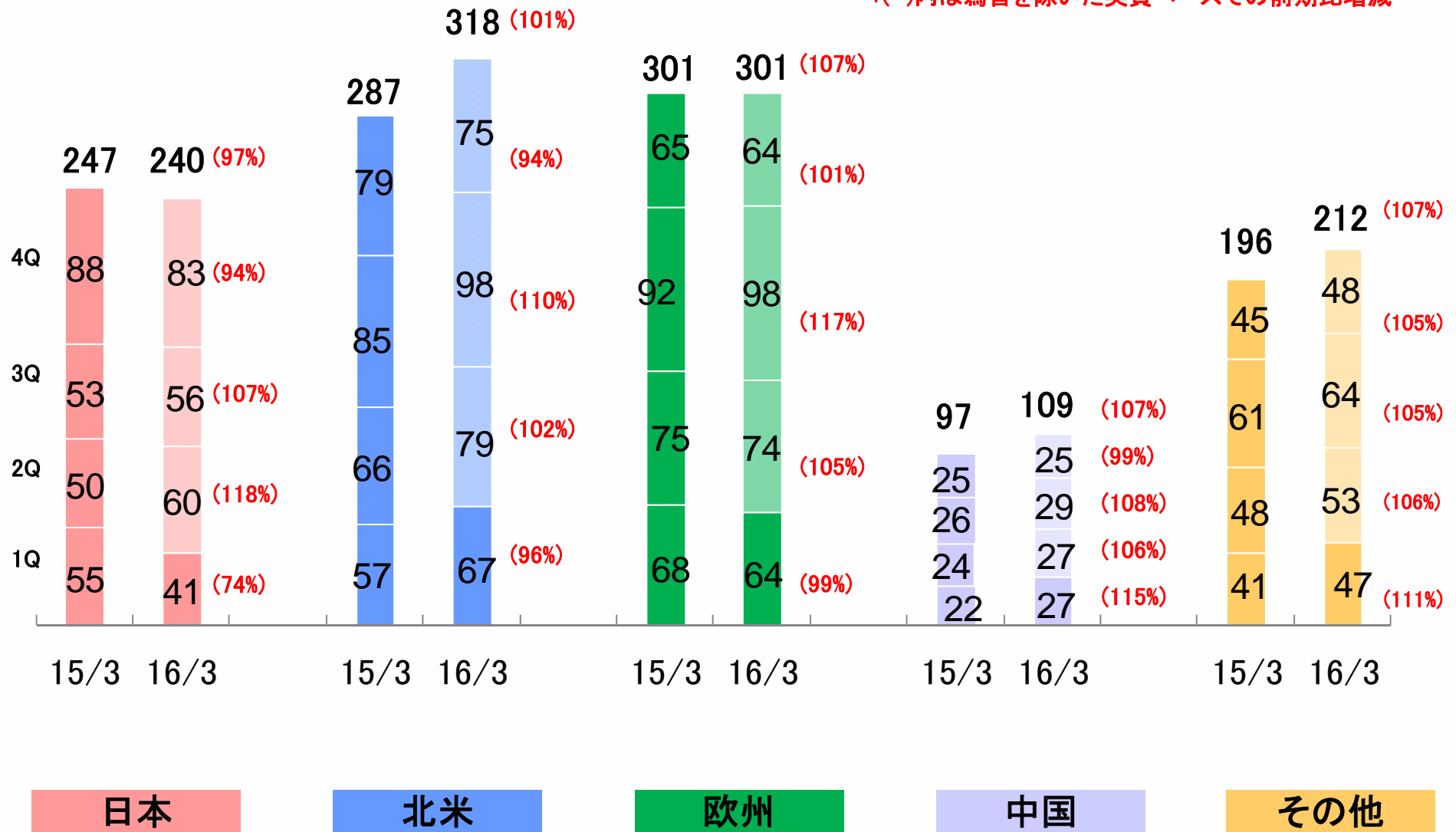


# 音響機器事業(地域別の販売予想)



(億円)

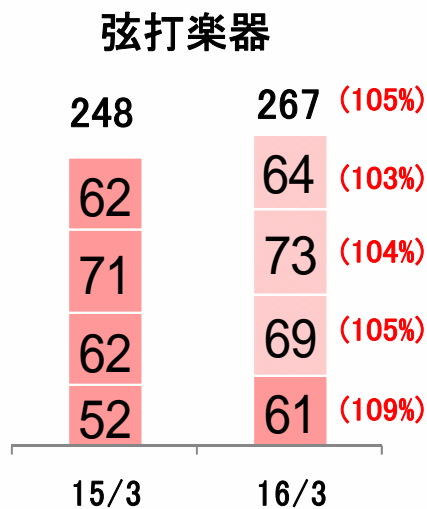
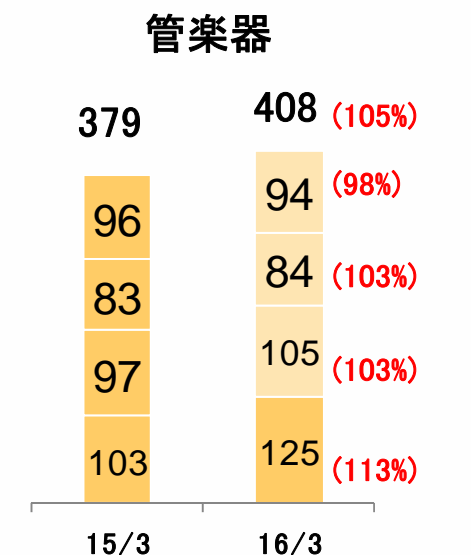
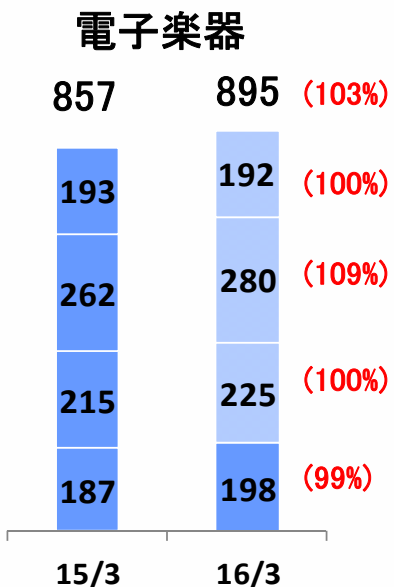
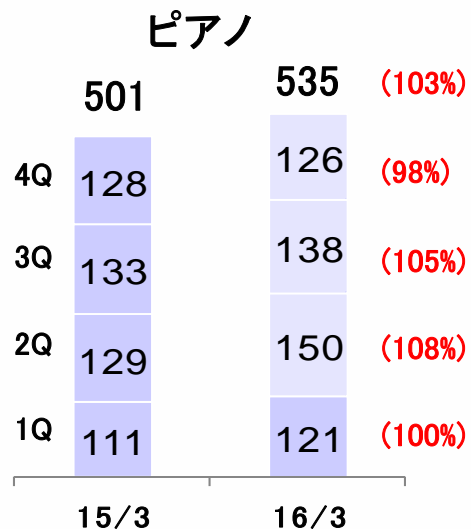
\*( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減



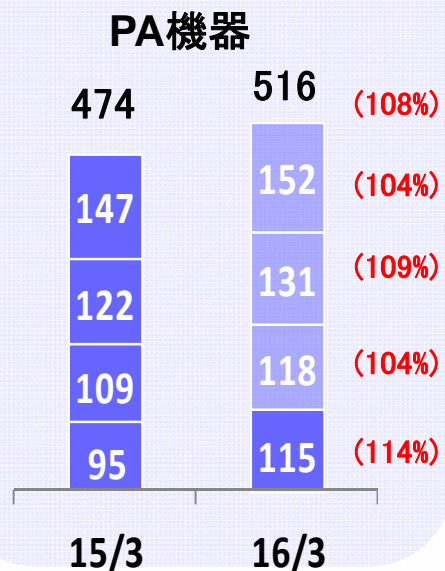
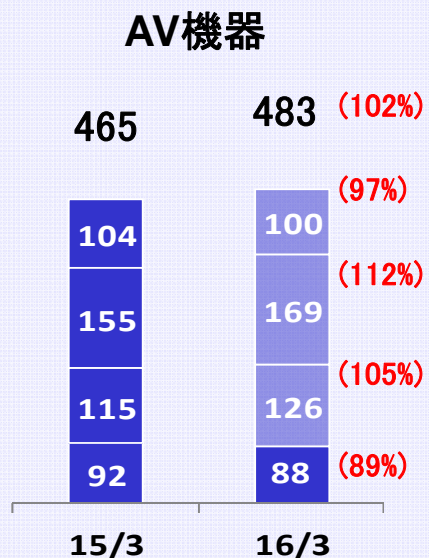
# 楽器・音響機器事業(主要商品別販売予想)



## 楽器事業



## 音響機器事業 (億円)



\*( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

# 電子部品事業 (予想)



## 通期

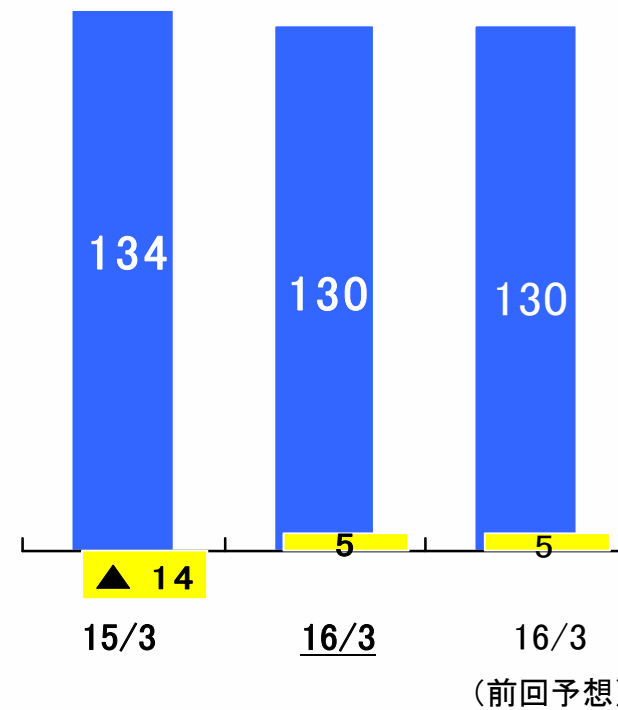
■ 売上高

■ 営業損益

(億円)

### 通期予想

- ・前回予想を据え置き
- ・アミューズメント向けデバイス回復想定も  
他部品の動向は慎重に想定
- ・構造改革による固定費削減効果等で黒字化



# その他の事業（予想）



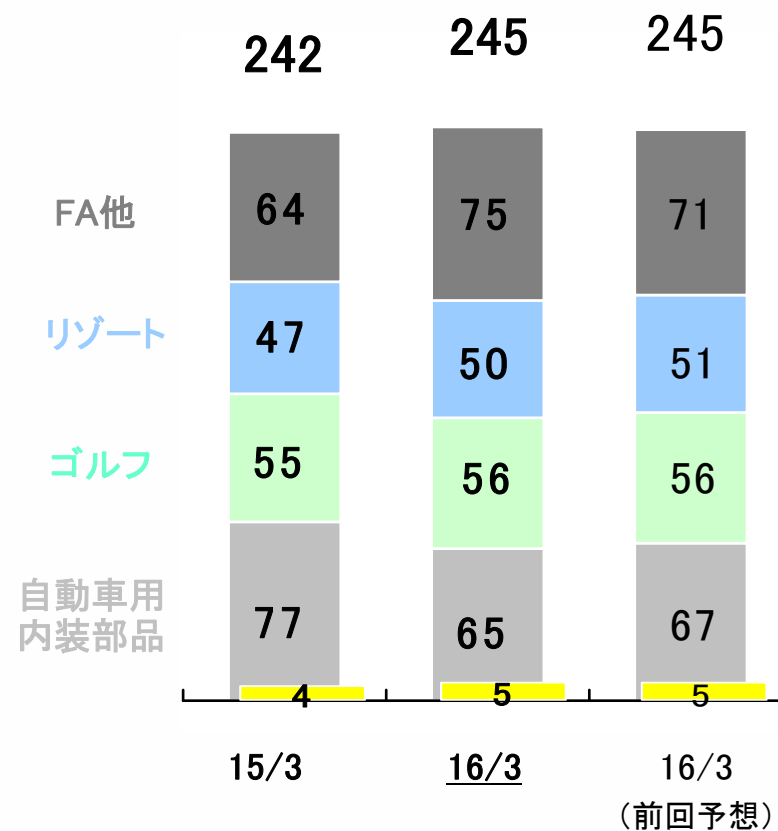
## 通期



(億円)

**通期予想**

- ・前回予想を据え置き
- ・FA機器はスマートフォン関連で対前期増収
- ・自動車用内装部品は対前期減収
- ・リゾートは対前期増収を想定

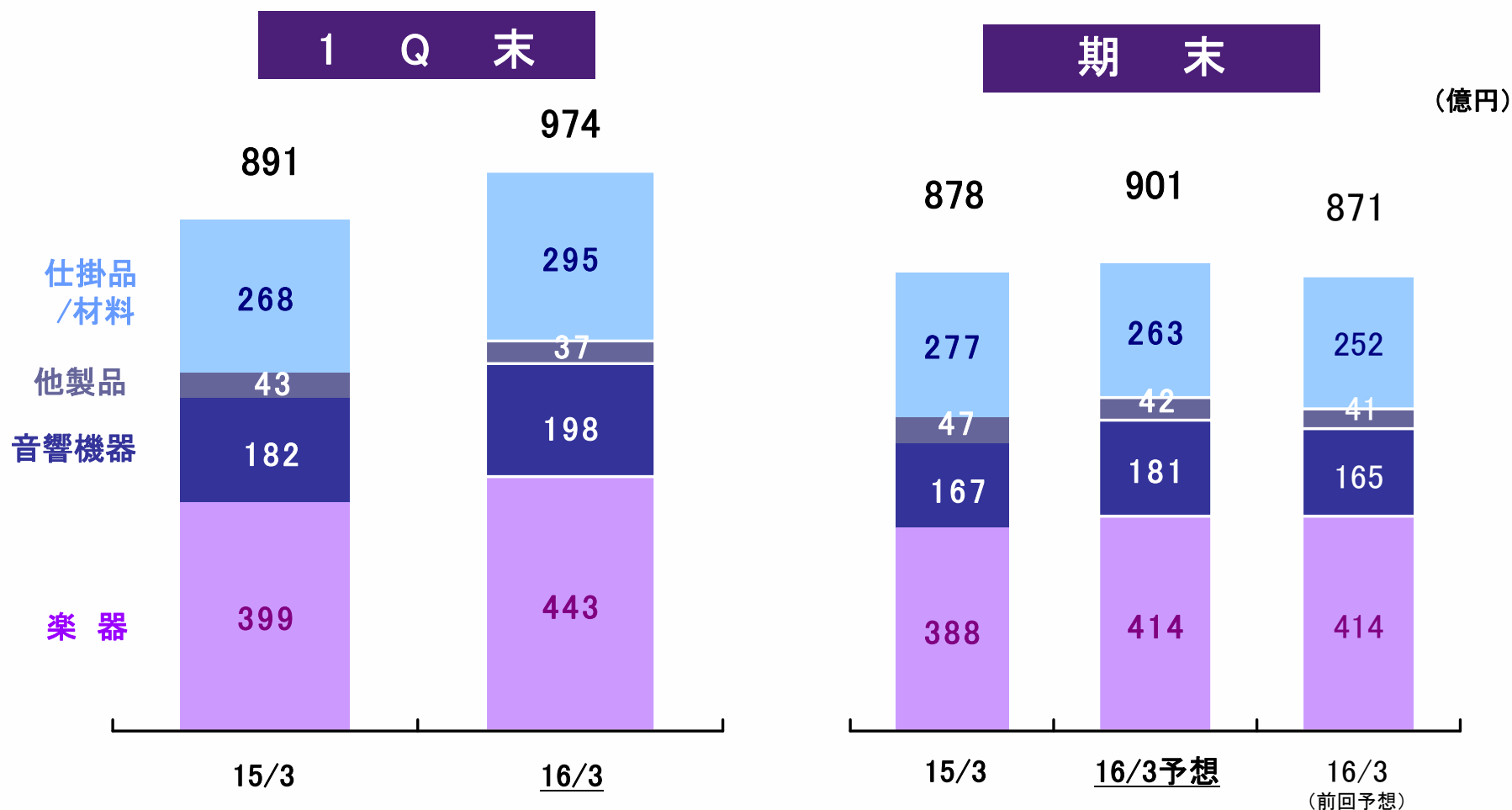


# 棚卸資産



➤1Q末在庫は974億円(対前年同期の為替影響は+68億円)

➤16/3期末在庫は901億円を想定(対前回予想での為替影響は+1億円)



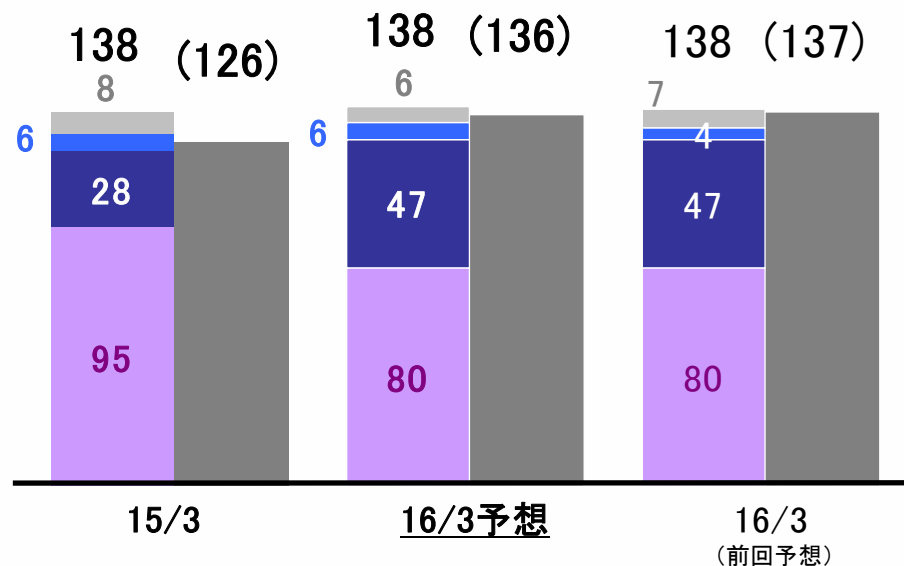
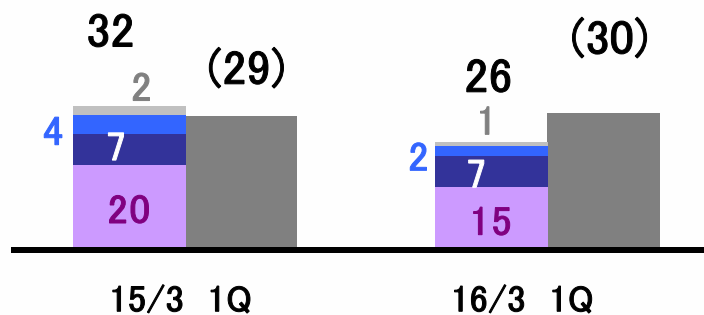
# 設備投資額・減価償却費/研究開発費



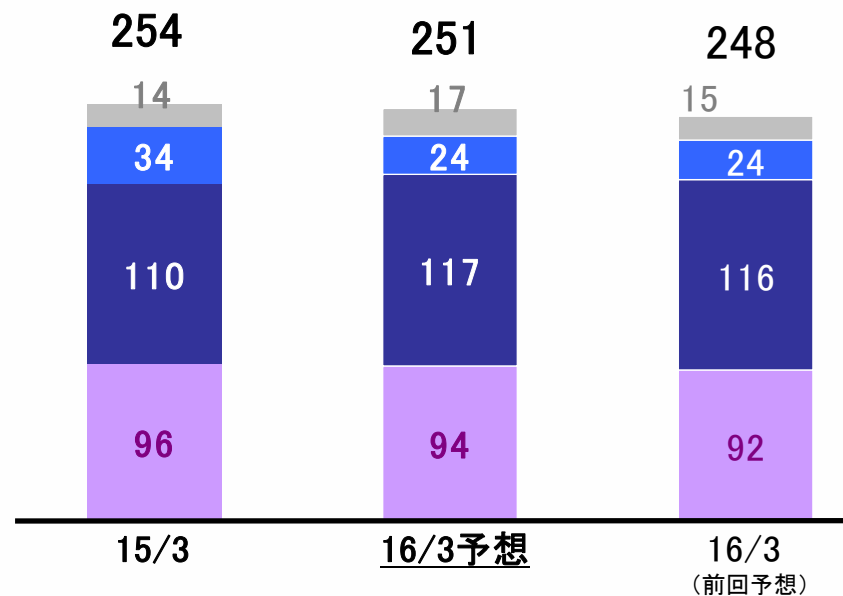
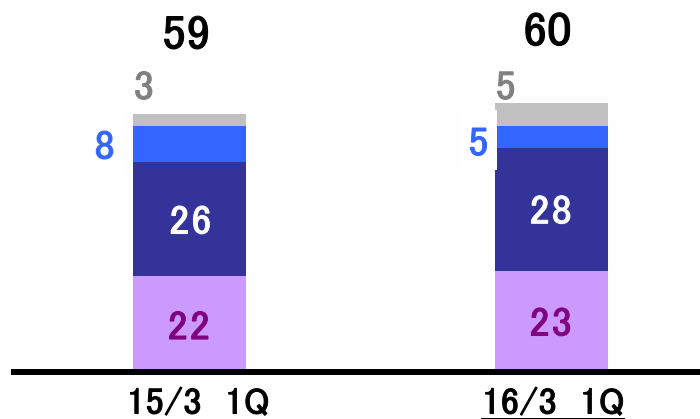
## 設備投資額(減価償却費)

(億円)

- その他
- 電子部品
- 音響機器
- 楽器



## 研究開発費



●前回予想は2015/4/30 発表

# 貸借対照表



(億円)

	1Q末			期末予想		
	14/6末	15/6末	増減	15/3末	16/3末	増減
現預金	614	843	229	793	953	160
売上債権	524	548	24	603	565	▲38
棚卸資産	891	974	83	878	901	23
他流動資産	149	199	50	202	180	▲22
固定資産	2,261	2,734	473	2,824	2,708	▲116
<b>資産計</b>	<b>4,439</b>	<b>5,298</b>	<b>859</b>	<b>5,300</b>	<b>5,307</b>	<b>7</b>
仕入債務	236	256	20	232	191	▲41
借入金	121	160	39	119	107	▲12
他負債	1,322	1,391	69	1,462	1,407	▲55
純資産計	2,760	3,491	731	3,488	3,602	114
<b>負債純資産計</b>	<b>4,439</b>	<b>5,298</b>	<b>859</b>	<b>5,300</b>	<b>5,307</b>	<b>7</b>

# 付属資料



# 2016/3期 1Q営業外損益、特別損益



(億円)	15/3 1Q	16/3 1Q	16/3 1Q前回予想
<b>営業外損益</b>			
金融収支	3	4	2
その他	▲6	▲8	▲7
計	▲3	▲4	▲5
<b>特別損益</b>			
固定資産処分損益	▲1	▲1	▲1
その他	0	▲1	1
計	▲1	▲2	0
<b>法人税他</b>			
法人税等	17	20	16
法人税等調整額	▲1	1	▲2
非支配株主に帰属する損益	1	▲1	1
計	17	20	15

# 2016/3期 通期営業外損益、特別損益



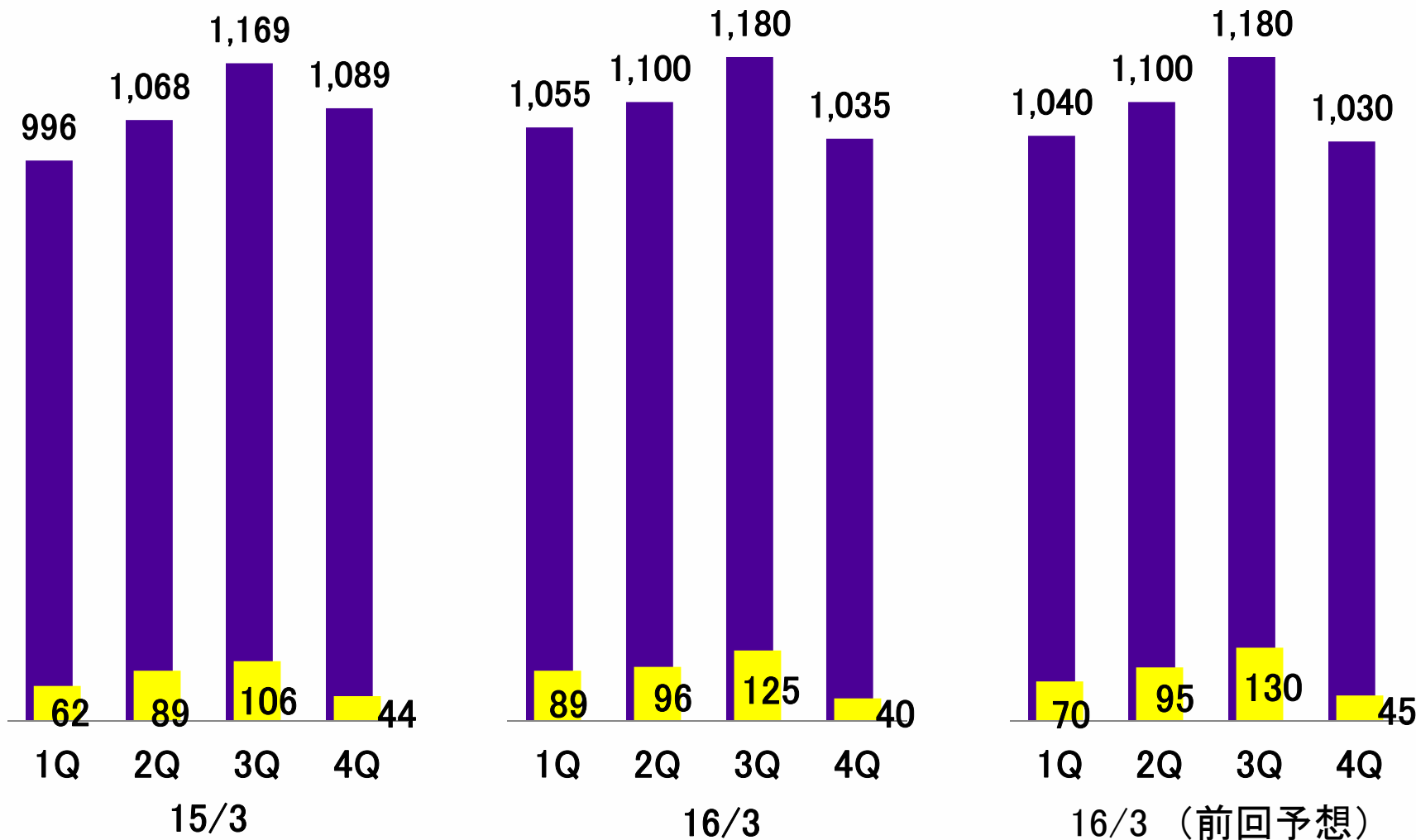
(億円)	15/3 通期	16/3 通期予想	16/3 通期前回予想
<b>営業外損益</b>			
金融収支	38	32	21
その他	▲27	▲32	▲31
計	11	0	▲10
<b>特別損益</b>			
固定資産処分損益	0	0	▲1
その他	▲27	0	1
計	▲27	0	0
<b>法人税他</b>			
法人税等	73	78	71
法人税等調整額	▲39	2	2
非支配株主に帰属する損益	2	0	2
計	36	80	75

構造改革費用  
▲18  
固定資産減損  
▲9

# 四半期別売上高／営業利益



(億円)



売上高(通期)	4,322
営業利益(通期)	301

売上高(通期)	4,370
営業利益(通期)	350

売上高(通期)	4,350
営業利益(通期)	340

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。